

各 位

東映アニメーション株式会社
 代表取締役社長 高木 勝裕
 (JASDAQコード番号: 4816)
 問い合わせ先 常務取締役 吉谷 敏
 電話番号 03-5318-0639

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月14日付「2019年3月期 決算短信」にて発表いたしました、2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期 連結業績予想の修正

(1) 第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	24,200	6,300	6,500	4,500	109円95銭
今回修正(B)	29,000	8,600	8,900	6,200	151円53銭
増減額(B-A)	4,800	2,300	2,400	1,700	—
増減率	19.8%	36.5%	36.9%	37.8%	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	25,579	7,918	8,215	5,809	141円96銭

(2) 通期(2019年4月1日～2020年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	46,200	12,000	12,300	8,500	207円69銭
今回修正(B)	55,000	15,000	15,300	10,700	261円58銭
増減額(B-A)	8,800	3,000	3,000	2,200	—
増減率	19.0%	25.0%	24.4%	25.9%	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	55,701	15,741	16,265	11,375	277円95銭

2. 修正理由

第2四半期連結累計期間は、国内外でのアプリゲーム化権販売に加え、海外で「ドラゴンボール」シリーズや「ワンピース」の商品化権販売や「ONE PIECE STAMPEDE」の劇場公開に向けた国内のタイアップ・販促向け許諾が好調に推移したことから、前回予想より増収・増益となる見込みです。

通期につきましては、下期はアプリゲーム化権販売は前年同期実績並みの推移をする見通しですが、前年下期にあった「ドラゴンボール超 ブロリー」関連の売上や遊技機の大口契約に相当するものがないことから、上記の予想となる見込みです。

※上記の予想は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上